

研究課題「高分化型・脱分化型脂肪肉腫と骨軟骨形成性腫瘍に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

1971年7月30日～2017年4月20日に、当院あるいは静岡がんセンターやその他の協力病院で、脂肪肉腫、骨軟骨形成性腫瘍、その他の骨軟部腫瘍にて手術あるいは生検された方、および九州大学形態機能病理学教室に登録された方。

2. 研究目的・方法

MDM2はユビキチンリガーゼとしてがん抑制遺伝子産物p53の量的な制御をつかさどる重要なタンパク質であり、様々な分子標的薬が考案されつつあります。MDM2遺伝子増幅腫瘍の病態を明らかにすることは、治療選択の上でも重要です。

この研究では、脱分化型脂肪肉腫や骨外性骨肉腫などの解析を通して、骨軟骨形成性腫瘍とMDM2遺伝子増幅を伴う間葉系腫瘍の特徴とその鑑別法を明らかにすること、さらにはMDM2遺伝子増幅腫瘍における脱分化現象の詳細を明らかにすることを目的としています。

具体的には、匿名化された組織標本を用いて、病理組織所見、免疫染色結果、FISHやマイクロアレイなどによる遺伝子解析結果を、臨床所見とともに評価します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：生検あるいは手術で摘出した組織

情報：年齢、性別、病変部位、病変の大きさ、臨床経過、カルテ番号、病理検体番号 等

4. 外部への試料・情報の提供

ありません。

5. 研究組織

<共同研究機関>

九州大学大学院医学研究院 形態機能病理学 小田義直、孝橋賢一

静岡がんセンター 病理診断科 伊藤以知郎

静岡がんセンター 整形外科 高橋満

<協力機関>

大阪市立総合医療センター 井上健

愛知県がんセンター 谷田部恭

名古屋第一赤十字病院 伊藤雅文

西尾市民病院 伊藤真文

中津川市民病院 大原悠紀

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学大学院医学系研究科 生体反応病理学 山下享子

TEL：052-744-2087、FAX：052-744-2091

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 生体反応病理学 山下享子